

年頭所感

# 「住んで良し、働いて良し、訪れて良し」の成田へ



成田市長 小泉 一成

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、平成20年の新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は、成田高等学校野球部の選抜大会2年連続出場や西中学校陸上競技部女子の4×100mリレー全国優勝などスポーツ健康都市成田にふさわしい素晴らしい活躍がありました。

改めまして、成田市民に夢と爽やかな感動を与えてくれた選手諸君に心から感謝申し上げます。

早いもので、この1月で市長就任から1年が経過しようとしております。振り返りますと、就任早々の仕事は、市政の信頼回復でありました。中でも入札制度改革は最優先課題であり、改革にあたっては6本の柱を据え取り組みました。おかげさまで6本

目の柱である入札等監視委員会条例を昨年9月に制定し、クリーンな市政を支える基礎をつくり上げることができました。今後も市政の透明性の確保に努力してまいりたいと考えております。

さて、昨年12月に、空港周辺9市町が連携して課題に取り組むための推進組織として、『成田国際空港都市づくり推進会議』が設立されました。成田国際空港は、2010年に2500mの平行滑走路が供用開始されますが、羽田空港国際化論や成田空港会社の株式上場など、成田国際空港を取り巻く諸情勢の中で、空港周辺市町とともに国際拠点空港としての潜在能力を最大限に活かした地域の発展と魅力ある成田空港圏づくりを目指してまいりたいと考えております。

本年は成田山開基1070年の記念すべき年にあたります。昨年は観光立市の推進にあたり、経済部に観光プロモーション課を設置し、その体制を整備いたしました。私は、観光は地域の活力や文化を内外に発信する有力な手段であり、地域経済に刺激を与えるとともに地域の未来を切り拓くものであると考えております。従いまして、私自身が成田市のトップセールスマンとなつて、観光のまち成田の魅力、産物を内外に発信し、地域経済の振興を図つてまいりたいと考えております。

次に、暮らしの安心、安全の確保は市民生活を送る上で重要な事柄であります。昨年痛ましい事件や事故が相次ぎました。公約でも「市営交番（仮称）」の設置を申し上げておりましたが、本年4月よりJR成田駅西口の防犯巡回指導員事務所に「市営交番（仮称）」を設置し、犯罪防止と事件・事故の早期

発見につなげてまいりたいと考えております。

成田市は自然環境に恵まれた緑豊かな都市でもあります。このようなすばらしい環境を私たちは後世に引き継いでいかなければなりません。20世紀は科学技術が飛躍的に進歩する中、豊かな物質文明を謳歌した時代でありました。しかし、豊かな物質文明をもたらした科学技術は、時として地球規模での環境破壊を引き起こすなど人類の存在を脅かすまでに深刻化しております。21世紀は、これらの反省の上に立って真の豊かさを求めて人間と地球とが共存をしていく時代であります。このためにも限りある資源の循環を図りながら、環境への負荷の少ない『持続可能な循環型社会』の構築に努力しなければなりません。と覚えております。

初心忘るべからず、本年も『住んでよし、働いてよし、訪れてよし』の生涯を完結できる空の港まち成田の実現のため、市民の皆様とともに一生懸命に頑張つてまいる所存でありますので、皆様の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭の挨拶といたします。

